

令和 8 年度第 1 回市民と議会のつどい（議会報告会）実施報告書

開催日時	令和 8 年 5 月 2 3 日（土） 午前 9 時 3 0 分 ～ 1 1 時 3 0 分	
開催場所	山城支所別館ホール	
担当議員	班代表者	長岡 一夫
	司会者	西山 幸千子
	報告者	谷川 光男
	記録者	堤 征一郎
	班員 (上記以外)	福井 平和、山本 しのぶ
参加人数	8 人	
主な質疑・意見等	Q：都市計画マスタープランは具体性に欠ける。事業進捗も遅いのでは。 A：マスタープランは長期計画のため、修正にはタイムラグが生じる場合がある。地元の声として議員から働きかけることも実現に向けての一つの手段かと考える。 Q：都市計画やマスタープランで、棚倉駅や上狛駅の周辺の都市計画が書かれているが、人口減少や高齢化が進み地域で暮らす人の孤立化がどんどん進んでいる。都市計画ではどうなっているのか教えてほしい。 A：次期都市計画マスタープランの策定という項目があり、立地適正化計画を作る予定で、その中に 5 つの検討条件がある。そこでは、地域の声や実情を聞くことになっている。 Q：公共施設包括管理事業と放課後児童クラブについて、民間委託によるサービス提供の質の低下が懸念されるのでは。 A：公共施設包括管理事業は令和 1 2 年度までで総額が 1 3 億円の事業。事業者から提出される報告書などをチェックし、行政側が事業者側と綿密に連絡をとる。蓄積された情報をもとに今後の公共施設の適正化に繋げていく。 Q：都市計画審議会で発言しない議員や公募委員がいるが、問題では。 A：行政に伝える。 Q：社協の無償運送ドライバーが不足している。7 3 歳の年齢制限は妥当なのか。 A：業務自体は行政ではなく社協であるが、高齢ドライバーの事故が増える中で、ドライバー不足も深刻であると認識している。 (社協では運転手不足もあり、他の社協の事例も調査し、7 0 歳から 7 3 歳に引き上げたもの)	

	Q：要介護認定に時間がかかりすぎるのはなぜか。 A：医師の診断書の作成に約1か月かかるなど聞いている。今後も短縮に向けた働きかけをしていく。 意見 ・議員や一般人がSNSを通じて発信することが活発になってきたが、市民の受け止めも考えモラルを心掛けた発信をしてほしい。
質問・要望等で行政側へ報告すべき内容	要望 ・地域の診療所が廃業となった。病院に通えるように上粕南部地域のコミバスのルート変更をしてほしい。にぎわいづくり、道の駅構想ともあわせて考えてはどうかと思う。 ・特別支援学校を木津川市内に設置してほしい。 ・防災士も含め誰でも気軽に仮設トイレ設置などの防災の実技ができるような機会を増やしてほしい。 ・不動川トンネルの拡幅と交差点の事故防止、棚倉駅周辺の活性化は長年の懸案である。なんとか対策を考えてほしい。
その他の特記事項	

上記のとおり、報告します。

令和8年6月24日

木津川市議会議長 柴田 はすみ 様

令和8年度第1回議会報告会

第1班 代表者 長岡 一夫